

システムコントローラー

C-SC50B

マニュアルのご案内

この機器には、次のマニュアルが付属しています。

(別 冊)

ドーム型クイックキャッチシステム
システムコントローラー
[工事マニュアル]

システムコントローラーの設置と
接続工事のしかた（リモートコント
ローラー、マルチスイッチャー、デ
ジタルレコーダー、カメラとの接続）

(別 冊)

ドーム型クイックキャッチシステム
システムコントローラー
[設定マニュアル]

システムコントローラーの動作設定
のしかた（すべての設定機能）

[このマニュアル]

ドーム型クイックキャッチシステム
システムコントローラー
[設定ソフトマニュアル]

システムコントローラーの動作（タ
イトルなどの特定の設定）をパソコ
ンで設定するしかた（付属の CD-
ROM を使います。）

システム操作マニュアル

(別 冊)

ドーム型クイックキャッチシステム
リモートコントローラー
[操作マニュアル]

リモートコントローラーによるシス
テムの操作のしかた

操作マニュアルは、リモートコントローラー C-RM50A に付属しています。

このたびは、TOA システムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこのマニュアルをお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し
上げます。

目次

基本的な説明

設定作業の手順	3
概 要	4
使用上のご注意	4
インストールのしかた	5
パソコンにインストールする	5
起動のしかた	5
本機とパソコンの接続	6
データの概略図	7

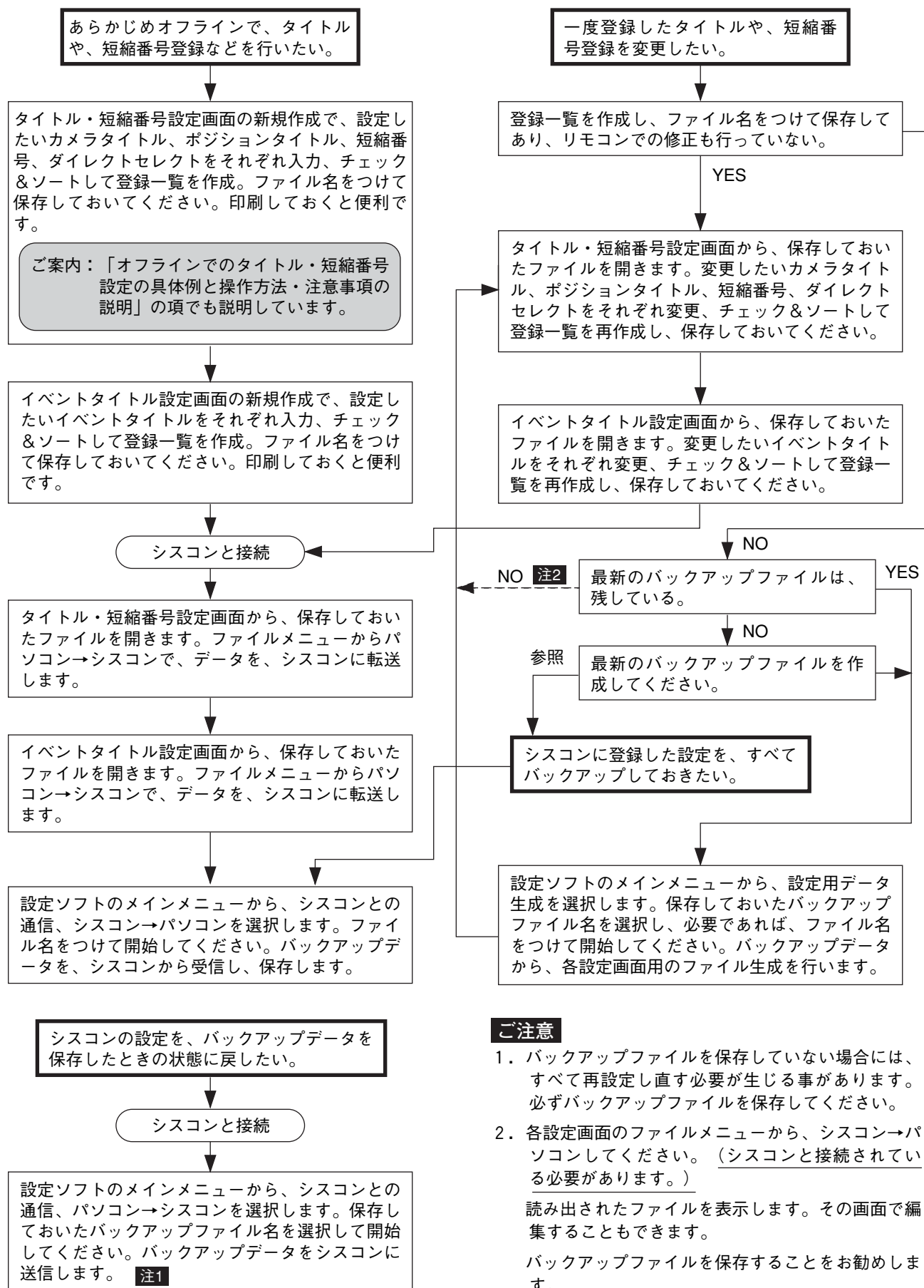
メニュー構成と機能の説明

メニュー画面の構成	7
タイトル・短縮番号設定の操作方法	8
各メニューの機能について	13
メインメニュー	13
タイトル・短縮番号設定	14
イベントタイトル設定	18
全データバックアップ	18
通信設定	21
設定用データ生成	22

関連事項の説明

補足	23
RS-232C リバースケーブルの結線図	23
16進コード入力表	24

設定作業の手順



ご注意

1. バックアップファイルを保存していない場合には、すべて再設定し直す必要が生じる場合があります。必ずバックアップファイルを保存してください。
2. 各設定画面のファイルメニューから、シスコ→パソコンしてください。（シスコと接続されている必要があります。）

読み出されたファイルを表示します。その画面で編集することもできます。

バックアップファイルを保存することをお勧めします。

概 要

1. システムコントローラーの設定項目（カメラタイトル、ポジションタイトル、短縮番号、ダイレクトセレクト、イベントタイトル）を事前にパソコン上で作成し、現場調整時にパソコンからシステムコントローラーにアップロードができます。
2. リモートコントローラーからの設定は可能ですが、最初の設定はこのソフトを使用すると調整時間の大幅な短縮ができ大変便利です。リモートコントローラーからの設定は、簡単な修正、変更時に行えば有効に利用できます。
3. また、上記タイトルのデータや、システムコントローラー内の運営データ（シーケンシャル設定、カメラ画質設定、アラーム動作モード設定）をパソコンにダウンロードし、保存することも可能です。

ご注意 カメラごとにプリセット設定した旋回台、ズームレンズの位置情報は、カメラ内のメモリ IC に書き込み保存されています。設定ソフトを使用してデータの保存はできません。

使用上のご注意

- このソフトは、付属品としてシステムコントローラーの梱包箱に入っています。
- 事前にこのソフトの入った CD-ROM をお手持ちのパソコンにインストールし、ご使用環境に応じたタイトル設定を行ってください。
- 使用するパソコンの OS は、Windows 2000 または、Windows Xp が動作可能です。
RS-232C 端子が装備されているパソコンをご使用ください。
- Windows は、米国マイクロソフト・コーポレーションの商標です。
Pentium は、米国インテル社の商標です。

インストールのしかた

■ パソコンにインストールする

1. パソコンを起動してください。

ご注意 他のアプリケーションは終了してください。

2. パソコンのCDドライブに付属の「タイトル・短縮番号設定ソフト」のCD-ROMを挿入します。
3. スタートボタンをクリックし、ファイル名を指定して実行をクリックします。そこでD:¥ setup¥ setup.exeを入力し、OKをクリックします。

ご注意 CDドライブがDドライブでない場合には、パソコンに合わせてドライブ名を変更してください。

4. 「タイトル設定ソフトのセットアップを始めます」と表示されますので、OKをクリックしてください。
5. 「パソコンのアイコン」をクリックすると、インストールを開始します。必要に応じてインストール先のディレクトリを変更してください。
6. 「タイトル設定ソフトのセットアップが完了しました」の表示が出ると、インストール完了です。

■ 起動のしかた

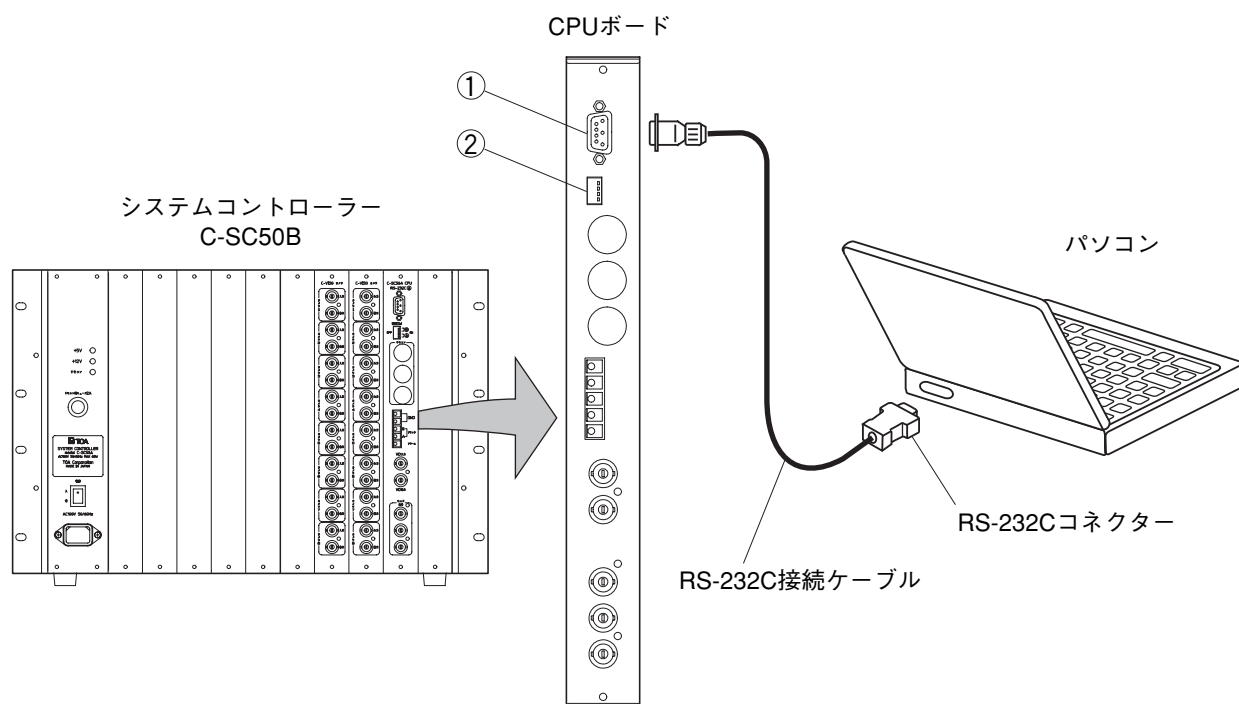
スタートボタンをクリックします。つぎに、プログラムの「C-SC50Bタイトル設定ソフト」をクリックすると起動します。

本機とパソコンの接続

システムコントローラーと通信する場合には、本機とパソコンを接続しておく必要があります。

タイトル・短縮番号入力画面での編集やファイルのダウンロード・アップロード
イベントタイトル入力画面での編集やファイルのダウンロード・アップロード
バックアップデータから各編集用ファイルの生成などはオフライン（システムコントローラーと接続しない状態）で行います。

① RS-232C コネクター



システムコントローラーのRS-232C とパソコンのRS-232C をリバースケールで接続します。
(参照 P. 23 「RS-232C リバースケールの結線図」)

② RS-232C 通信速度設定スイッチ

A の 2 ビットは CPU ボードの RS-232C コネクターの、通信速度を決めるスイッチです。

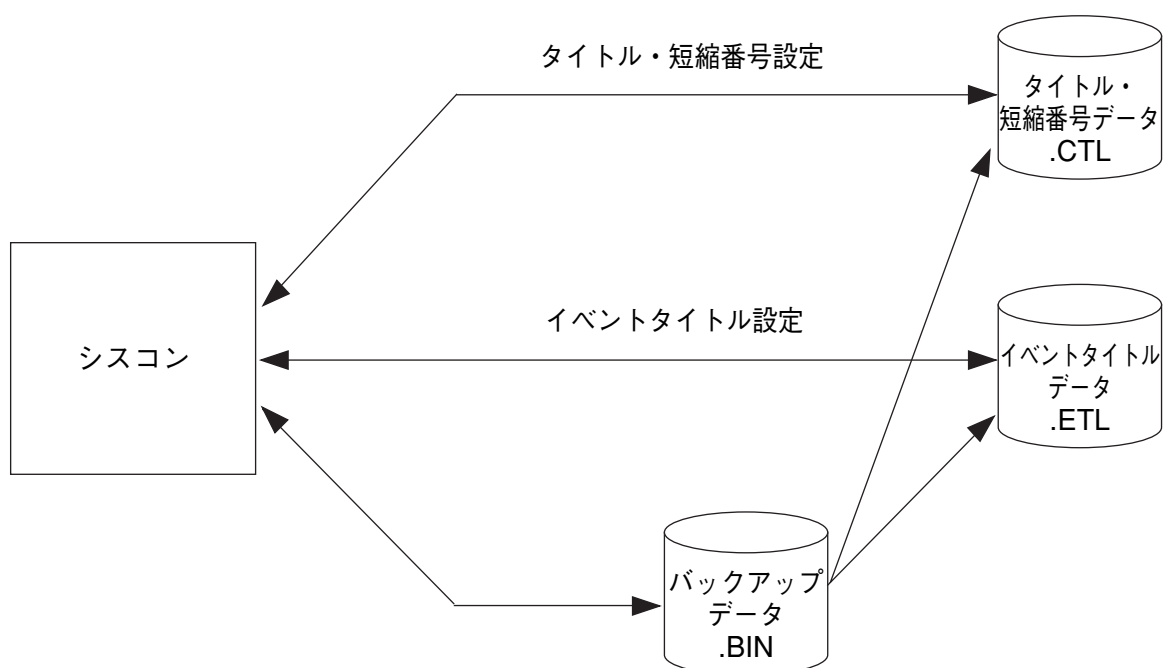
1	2	CPUボードのRS-232Cコネクターの通信速度
OFF	OFF	4800bps
ON	OFF	9600bps
OFF	ON	19200bps
ON	ON	38400bps

※工場出荷時は 38400bps に設定されています。

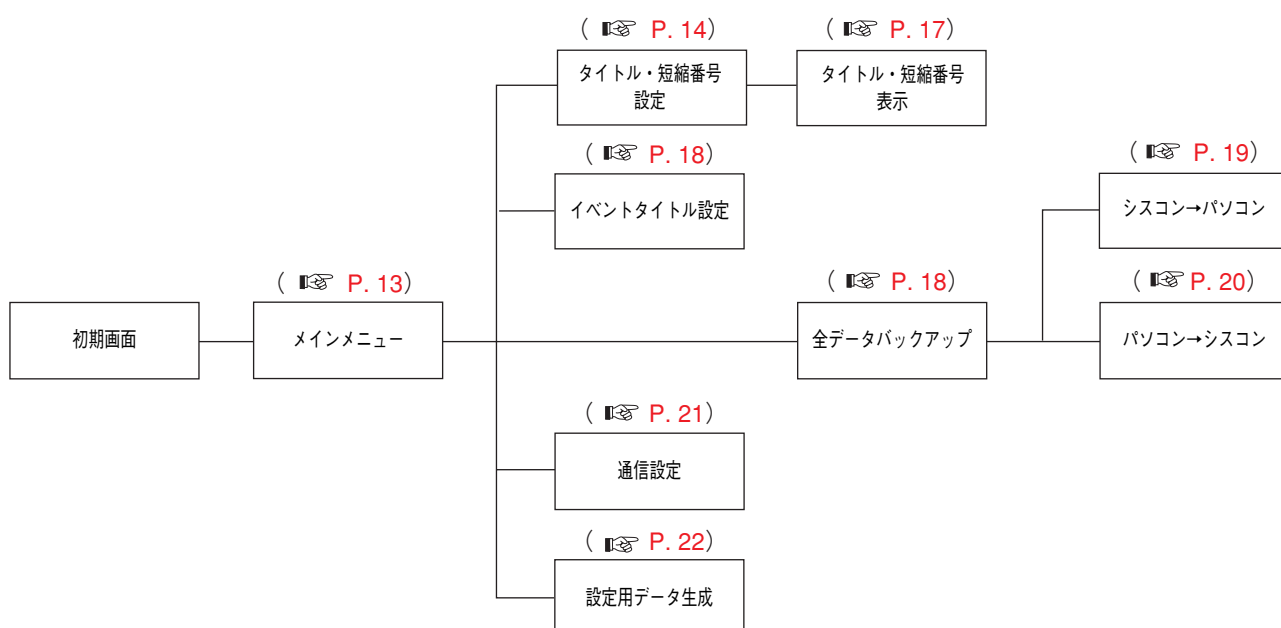
データの概略図

各画面とその入出力の相関関係を表わします。

矢印はデータの流れを、 は入出力するファイルを表しています。

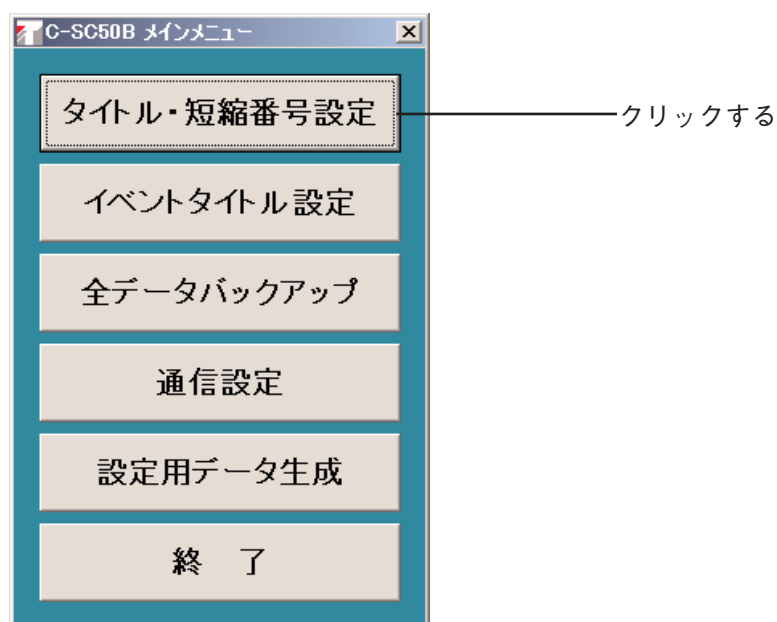


メニュー画面の構成

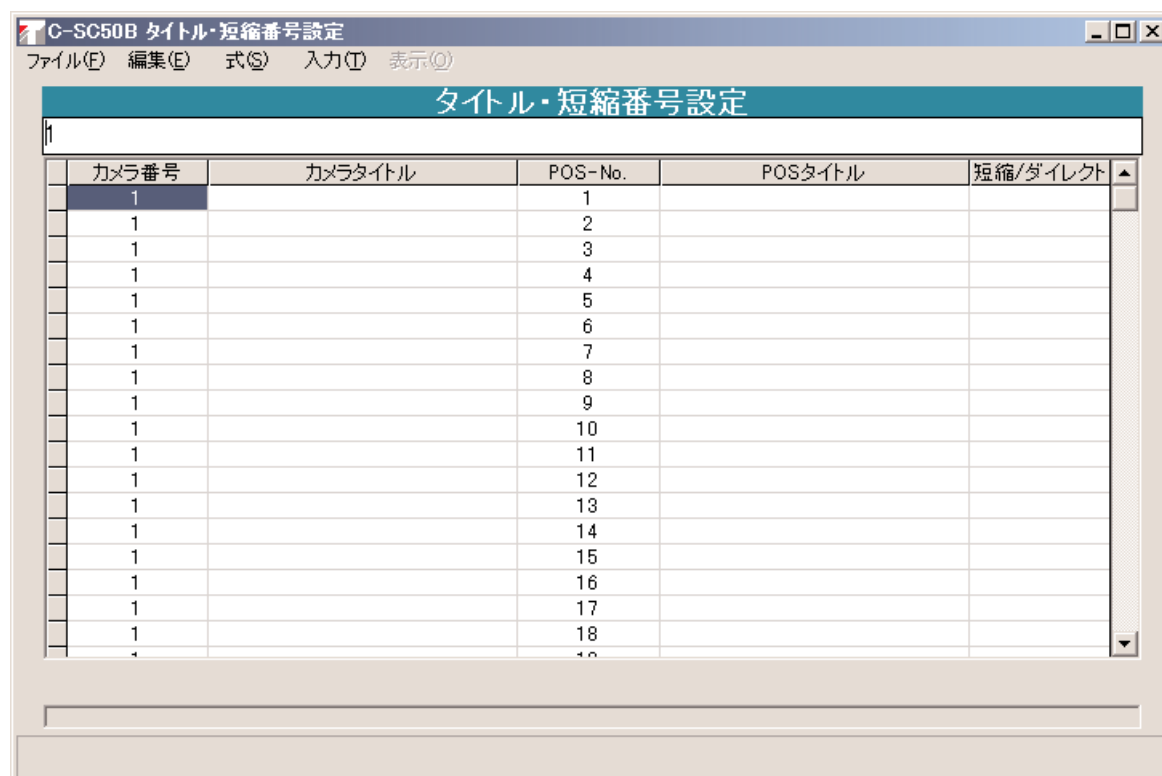


タイトル・短縮番号設定の操作方法

1. メインメニューから「タイトル・短縮番号設定」ボタンを押して、タイトル・短縮番号設定画面を起動します。



2. ファイルのプルダウンメニューから、新規作成を選択します。下の画面が開きます。



3. カメラタイトル、POS タイトルを入力します。

入力したいセルをダブルクリックして、文字（ひらがな、カタカナ、英数字）を入力してください。特殊文字を入力したい場合は、ツールバーから「入力」→「コード入力」を選択してから、P. 24 の文字コードを入力してください。

不要な行は、選択してから「編集」→「切り取り」で削除してください。

ご注意

- 濁音、半濁音には、1 文字と認識する文字と、2 文字と認識する文字があります。
1 文字と認識する文字は、以下の通りです。
『が、だ、づ、で、ど、グ、ズ、ダ、デ、ド、ビ、ボ、ピ、プ、ポ』
- 同じカメラ番号のカメラタイトルは、1 カ所入力すると同じカメラタイトルになります。固定カメラには、カメラタイトルだけつけることができます。
- 固定カメラに、短縮番号またはダイレクトセレクトを割り振りたい場合には、ポジション番号 1 に対応する短縮番号の列に短縮番号またはダイレクトセレクトを入力してください。このときポジション番号列に 1 の入力には必ず必要です。
- POS タイトルは、カメラ毎に自由に設定できますが、カメラタイトルやイベントタイトルも含めて、全部で 624 種類までです。固定カメラにポジションタイトルをつけることはできません。
- 1 つのカメラ番号に、同一のポジション番号を複数作ることはいけません。

編集(E)	式(S)	入力(I)
取消		Ctrl+Z
切り取り(T)		Ctrl+X
複写(C)		Ctrl+C
貼り付け(P)		Ctrl+V
下方向へ複写(A)		
挿入(I)		
削除(D)		
連番機能(B)		

「編集」プルダウンメニュー

4. 短縮番号・ダイレクトセレクトを入力します。

入力したいセルをダブルクリックして、文字（半角）を入力してください。1つのカメラ番号・ポジション番号に対応する短縮番号またダイレクトセレクトは1種類のみ可能です。短縮番号またはダイレクトセレクトは、それぞれ3台までのカメラ番号・ポジション番号に対応させることが可能です。

ご注意

短縮番号は、1から9999までの数字、ダイレクトセレクトは、AからHまでのアルファベット入力に限られます。9000番台の短縮番号は、通常画面では表示されません。

C-SC50B タイトル・短縮番号設定

ファイル(F) 編集(E) 式(S) 入力(I) 表示(O)

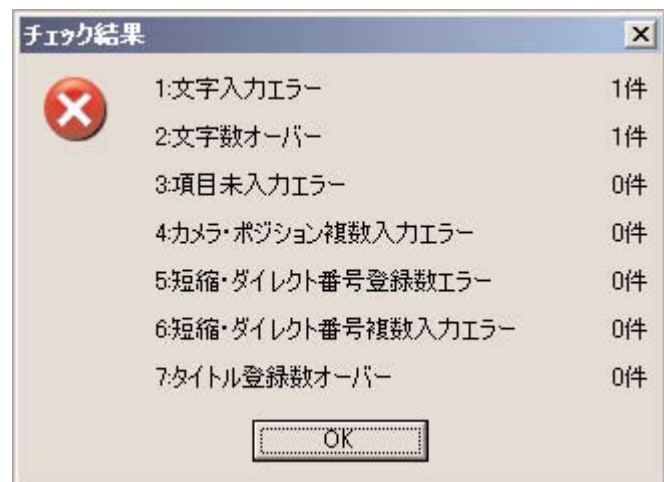
タイトル・短縮番号設定

1

カメラ番号	カメラタイトル	POS-No.	POSタイトル	短縮/ダイレクト
1	1Fヒガシ	1	ゲンカン	1
1	1Fヒガシ	2	ホール	2
1	1Fヒガシ	3	ロウカ	3
1	1Fヒガシ	4	トイレ	4
2	1Fミナミ	1	ゲンカン	1
2	1Fミナミ	2	ホール	2
2	1Fミナミ	3	ロウカ	3
2	1Fミナミ	4	トイレ	4
3	1Fニシ	1	ゲンカン	1
3	1Fニシ	2	ホール	2
3	1Fニシ	3	ロウカ	3
3	1Fニシ	4	トイレ	4
4	2F	1	ルーム1	5
4	2F	2	ルーム2	6
4	2F	3	ルーム3	7
4	2F	4	ルーム4	8

5. ソート&チェック

入力が完了したら、ツールバーから「式」→「ソート&チェック」を選択して、エラーがないか確認してください。



エラーメッセージ

カメラ番号順、ポジション番号順に並び替えを行い、入力内容に不適合な内容がないかどうかのチェックを自動的に行います。『エラーはありません』という表示が出れば、チェック終了です。チェック終了になると、表示切替機能、印刷機能、パソコン→シスコン送信機能が、使用可能になります。

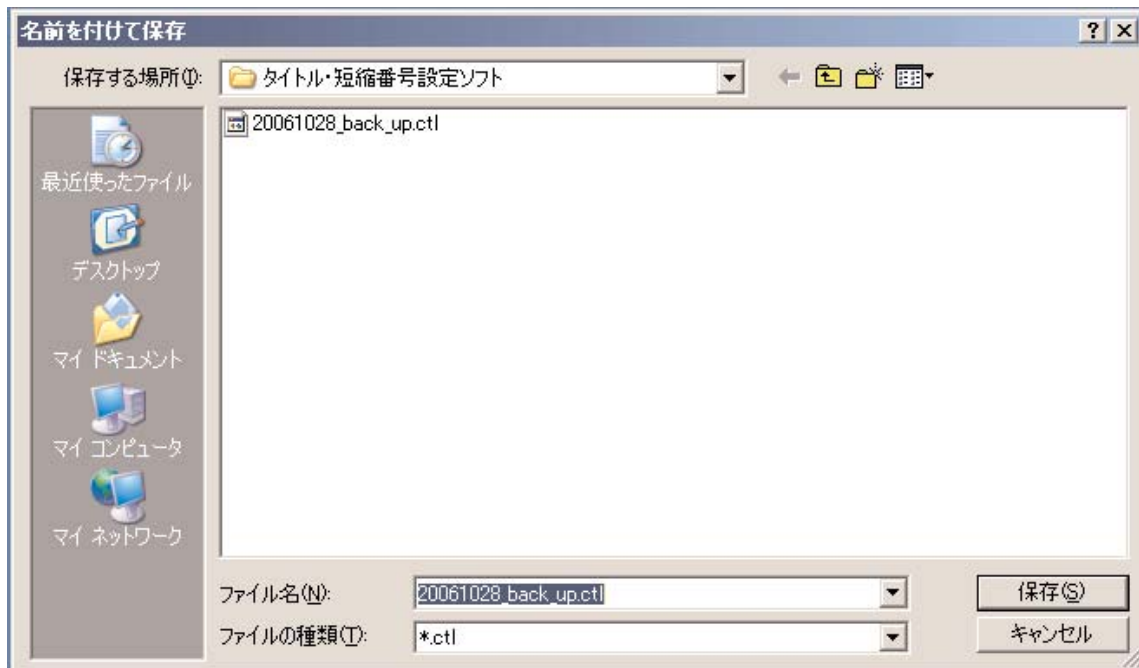
エラーが表示された場合、不適合部分が、表の冒頭部分に集められ、色が変わります。エラーとなっているセルを選択すると、左下にエラー内容が表示されますので、それに従って不適合部分を修正してください。修正完了後、再度ソート&チェックし、チェックOKとなるまで繰り返してください。

エラー表示の一覧

文字入力エラー	使用できない文字が入力されている。（カメラ番号、ポジション番号欄の場合、半角文字の1～64以外の文字。短縮・ダイレクト番号欄の場合、半角文字の1～9999またはA～H以外の文字。タイトルの場合、別表に無い文字、または00～FF以外のコード入力。）
文字数オーバー	使用可能な文字数以上の文字が入力されている。（カメラ番号、ポジション番号、短縮・ダイレクト番号欄の場合、各許容値の倍以上。タイトルの場合、全角8文字相当以上）
項目未入力エラー	必要項目が未入力になっている。（カメラタイトルにはカメラ番号が、ポジション番号、短縮・ダイレクト番号にはカメラ番号・ポジション番号が必須です。）
カメラ・ポジション複数入力エラー	同一カメラ番号内に複数種類のカメラタイトルまたは、ポジション番号が重複登録されている。
短縮・ダイレクト番号登録数エラー	同一の短縮・ダイレクト番号に関して、3つ以上登録されている。
短縮・ダイレクト番号複数入力エラー	1つのカメラに同一の短縮・ダイレクト番号が、2つ以上登録されている。
タイトル登録数オーバー	カメラタイトル・ポジションタイトルの種類の合計が、625を超えている。

6. ファイルを保存します。

ツールバーから「ファイル」→「名前をつけて保存」を選択して、フォルダ、ファイル名を指定して保存します。



7. システムコントローラーにデータを送信します。

ツールバーから「ファイル」→「パソコン→シスコン」を選択し、設定データをシスコンに送信します。
また、「ファイル」の「シスコン→パソコン」を選択すると、設定データをシスコン側からパソコンに取り込むこともできます。


8. システムコントローラーの電源の「切」→「入」を行ってください。

ご注意

- イベントタイトル設定画面の手順・操作もほぼ同様です。
- あらかじめシステムコントローラーとの接続および設定が必要です。

各メニューの機能について

カメラ番号、カメラタイトル、ポジション番号、ポジション名、短縮番号または、ダイレクト番号の入力を表形式（スプレッド形式）で行えます。

入力可能な特殊文字が存在するため、直接16進コード入力もできます。（ P. 24「16進コード入力表」）

入力された内容は、任意のファイル名を付けCSV形式で保存することができます。

RS-232C通信により、シスコン内の設定をパソコン側へダウンロードすることができます。（シスコン→パソコン） また、入力内容をシスコンに記憶させることもできます。（パソコン→シスコン）

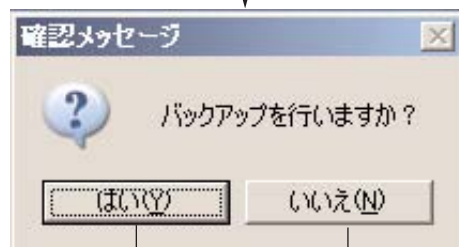
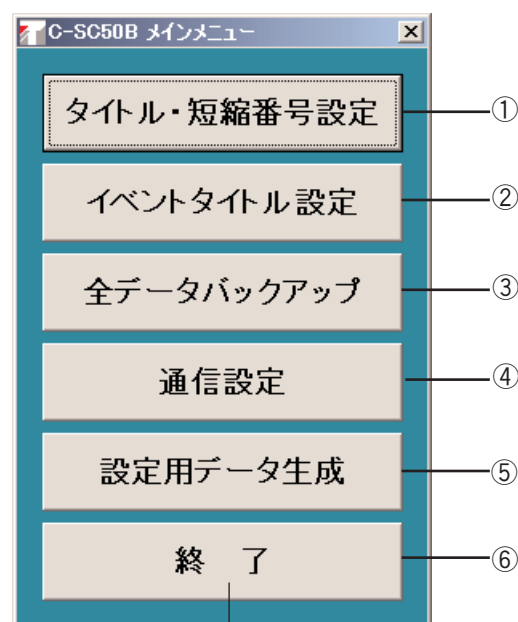
タイトルの、最大登録数は624種類です。

1つのカメラの1ポジションには、1個の短縮番号または、ダイレクト番号を登録できます。

1つの短縮・ダイレクト番号には、3つのカメラポジションを設定できます。

■ メインメニュー

- ① タイトル・短縮番号設定
タイトル・短縮番号設定画面の起動を行います。
- ② イベントタイトル設定
イベントタイトル設定画面の起動を行います。
- ③ 全データバックアップ
バックアップファイルのロード／セーブを行う送受信メニューを起動します。
- ④ 通信設定
環境設定画面の起動を行います。
- ⑤ 設定用データ生成
設定用データ生成画面の起動を行います。
- ⑥ 終了
バックアップの有無確認をメッセージボックスで行いバックアップ要求が行われた時には、「シスコン→パソコン画面」を表示し、保存完了後、当システムを終了します。



システム終了

バックアップを行います。
詳しくは、P. 19の「シスコン→パソコン画面」を参照してください。

■ タイトル・短縮番号設定

カメラ番号	カメラタイトル	POS-No.	POSタイトル	短縮/ダイレクト
1	1Fヒガシ	1	ゲンカン	1
1	1Fヒガシ	2	ホール	2
1	1Fヒガシ	3	ロウカ	3
1	1Fヒガシ	4	トイレ	4
2	1Fミナミ	1	ゲンカン	1
2	1Fミナミ	2	ホール	2
2	1Fミナミ	3	ロウカ	3
2	1Fミナミ	4	トイレ	4
3	1Fニシ	1	ゲンカン	1
3	1Fニシ	2	ホール	2
3	1Fニシ	3	ロウカ	3
3	1Fニシ	4	トイレ	4
4	2F	1	ルーム1	5
4	2F	2	ルーム2	6
4	2F	3	ルーム3	7
4	2F	4	ルーム4	8

半角2文字 全角8文字 (半角16文字) *1 半角2文字 全角8文字 (半角16文字) *1 半角4文字

* 1 : 全角は、文字入力時 (ひらがな、カタカナ)
 半角は、コード入力時 (P. 24 「16進コード入力表」)

● 連番機能

範囲を設定し、「編集」→「連番機能」を選択すると連番を自動で入力します。

「入力」→「4、9抜き」を設定して、連番機能で入力すると、4、9抜きで入力することができます。

プルダウンメニュー

編集(E)	式(S)	入力(I)
取消		Ctrl+Z
切り取り(T)		Ctrl+X
複写(C)		Ctrl+C
貼り付け(P)		Ctrl+V
下方向へ複写(A)		
挿入(I)		
削除(D)		
連番機能(B)		

入力(I)	表示(B)
通常入力	
✓ 4,9抜き入力	
✓ 文字入力	
コード入力	

「入力」プルダウンメニュー

例1 指定範囲の1番上と2番目より昇順連番設定と判断する。

短縮／ダイレクト		短縮／ダイレクト
1		1
6		2
2		3
		4
		5
		6
		7
		8

例2 指定範囲の1番上と2番目より降順連番設定と判断する。

短縮／ダイレクト		短縮／ダイレクト
10		10
2		9
6		8
		7
		6
		5
		4
		3

例3 指定範囲の1番上のみ入力されていた場合は、昇順と判断する。

短縮／ダイレクト		短縮／ダイレクト
1		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8

●文字列の検索と置換

式(S)	入力(I)	表示(O)
検索(F)	Ctrl+F	文字検索画面
置換(E)	Ctrl+H	文字置換画面
ひらがな変換(H)		
カタカナ変換(K)		
ソート&チェック(S)		

1. 検索

指定列に対して文字列検索を行います。

2. 置換

指定列に対して文字列検索を行い、指定文字列に置換えます。

3. ひらがな変換

指定セルに対して文字列中のひらがなをカタカナに変換します。

4. カタカナ変換

指定セルに対して文字列中のカタカナをひらがなに変換します。

5. ソート&チェック

各項目を一括チェックし、カメラ番号、ポジション番号順にソートします。

文字列の検索		×
検索する文字列	<input type="text"/>	検索
<input type="checkbox"/> 完全に一致する文字列のみ検索		取消

置換		×
検索する文字列	<input type="text"/>	検索
置換後の文字列	<input type="text"/>	置換
		全て置換
<input type="checkbox"/> 完全に一致する文字列のみ検索		取消

● タイトル・短縮番号表示

1. タイトル・短縮番号設定より入力された内容を、ダイレクトセレクト番号・短縮番号順にソートし表示します。(A～H順、0000～9999順)
2. 短縮／ダイレクト番号に対してカメラは3台登録できるため、1行には最大3レコード表示します。

C-SC50B タイトル・短縮番号表示

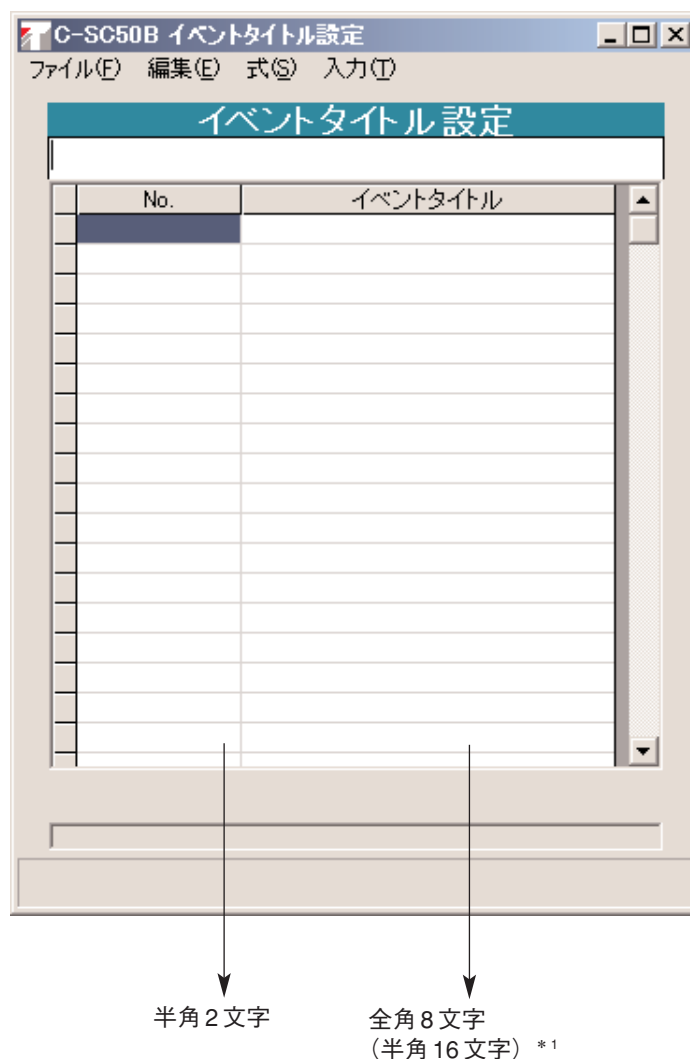
ファイル(F)

タイトル・短縮番号表示							
短縮/ダイレクト	カメラNo.	カメラタイトル	POSNo.	POSタイトル	カメラNo.	カメラタイトル	POSNo.
1	1	1Fヒガシ	1	ケーンカン	2	1Fミナミ	
2	1	1Fヒガシ	2	ホール	2	1Fミナミ	
3	1	1Fヒガシ	3	ロウカ	2	1Fミナミ	
4	1	1Fヒガシ	4	トイレ	2	1Fミナミ	
5	4	2F	1	ルーム1			
6	4	2F	2	ルーム2			
7	4	2F	3	ルーム3			
8	4	2F	4	ルーム4			

Windows taskbar: Caps Lock

■ イベントタイトル設定

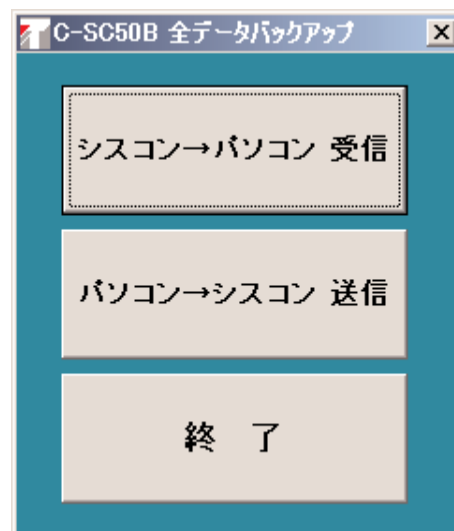
タイトル、短縮番号設定の操作方法と同様に
入力して行きます。詳しくは、P. 8の「タイ
トル・短縮番号設定の操作方法」を参照して
ください。



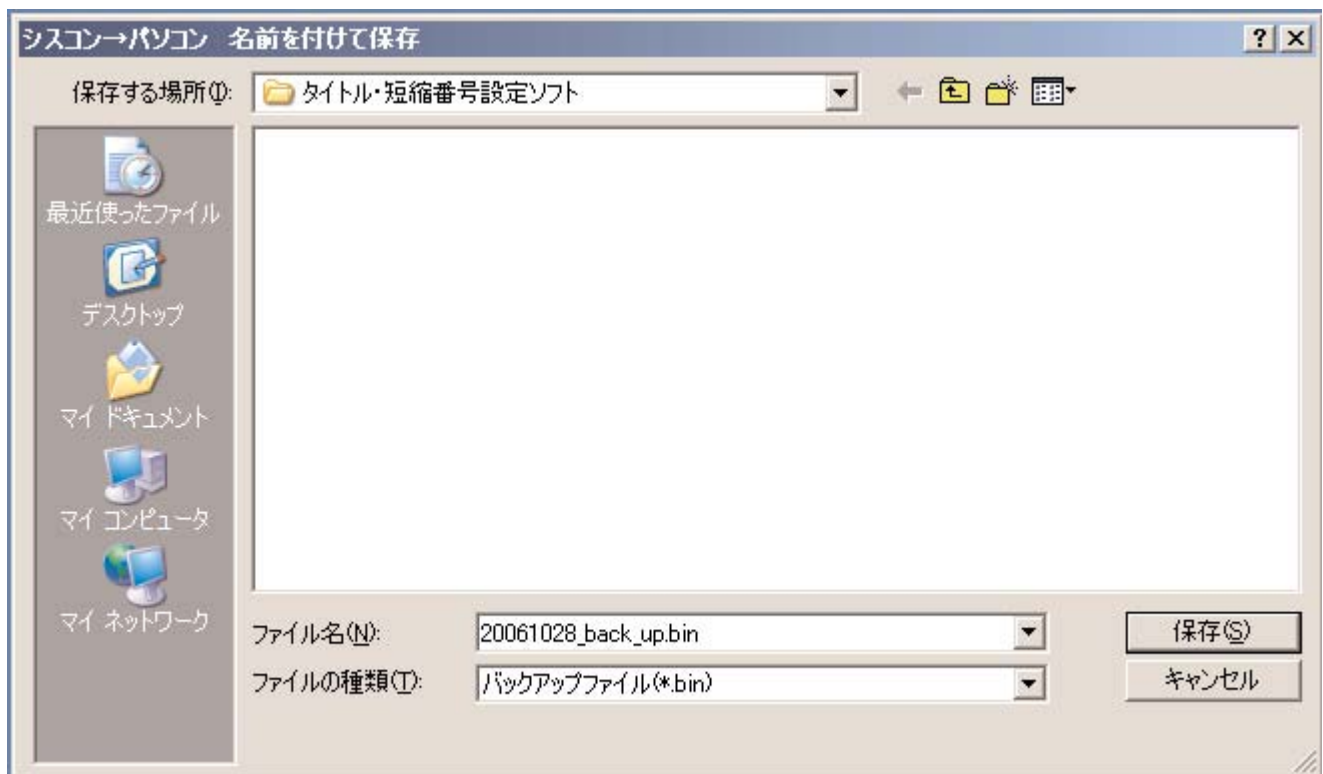
* 1：全角は、文字入力時（ひらがな、カタカナ）
半角は、コード入力時（ P. 24 「16進コード入力表」）

■ 全データバックアップ

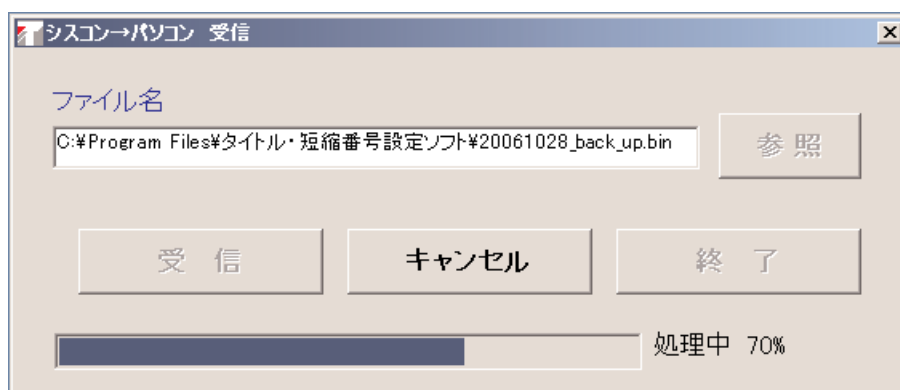
1. シスコン→パソコン画面を起動します。
シスコン→パソコン画面では、システムコントローラーの
設定内容のバックアップファイルを作成することができます。
2. パソコン→シスコン画面を起動します。
パソコン→シスコン画面では、バックアップファイルの内
容をシステムコントローラーに転送・記憶させることがで
きます。
ご注意 システムコントローラーがそれまで記憶していた
設定はすべて失われます。
3. 送受信メニューを終了します。



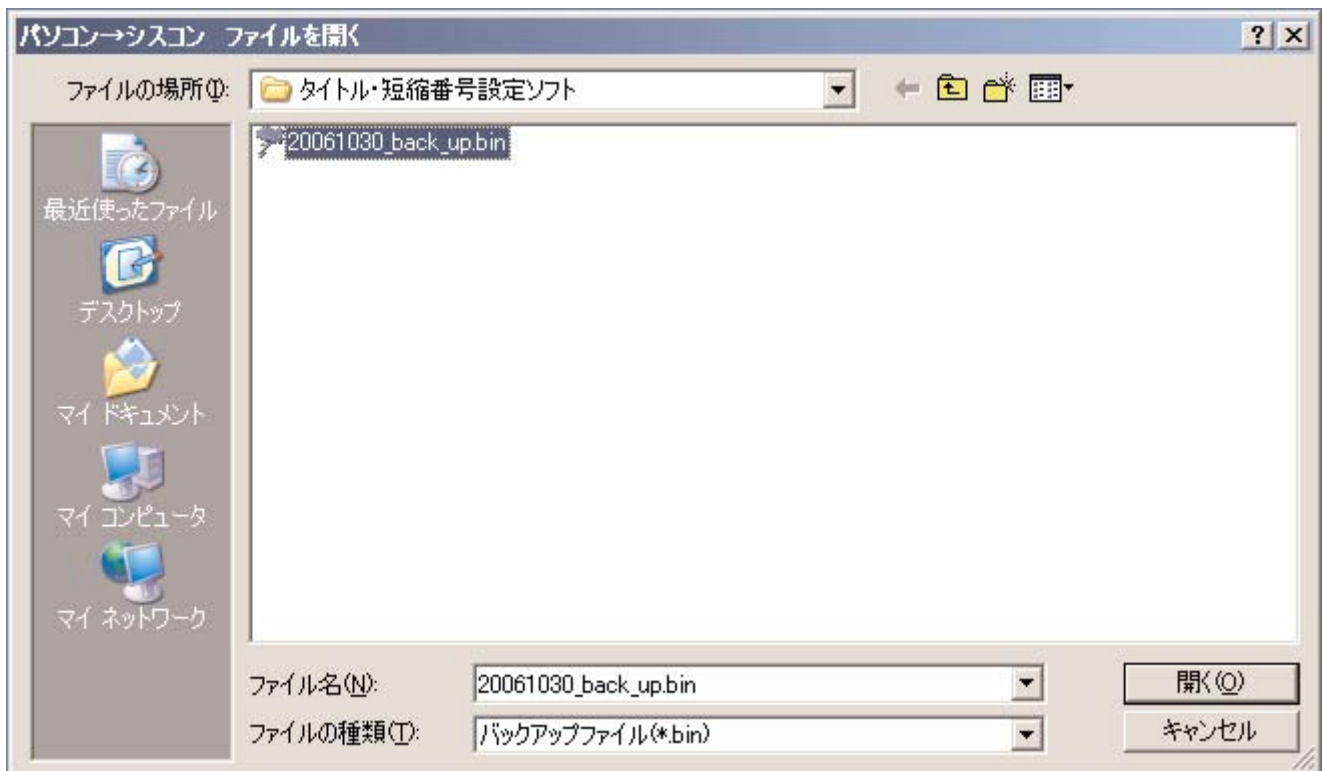
● シスコン→パソコン画面



1. システムコントローラーの設定内容を RS-232C 通信により、パソコン上にバックアップデータとして保存します。
2. バックアップデータは任意のドライブ、ディレクトリを選択でき、任意のファイル名を設定することができます。
ファイルの一覧は、選択されたディレクトリより自動で拡張子が「.BIN」のファイルのみ表示されます。
3. アップロード中は、実行状況をプログレスバーで表示します。
4. 指定されたファイル名が、すでに存在する場合は、メッセージボックスで確認後、上書保存をします。



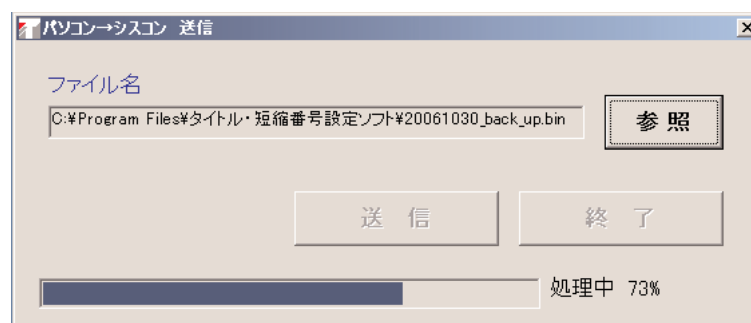
● パソコン→シスコン画面



1. パソコン上のバックアップファイルの内容を RS-232C 通信により、システムコントローラー（シスコン）へ送信・記憶させます。
2. バックアップデータは任意のドライブ、ディレクトリから選択できます。
ファイルの一覧は、選択されたディレクトリより自動で拡張子が「.BIN」のファイルのみ表示されます。
3. ダウンロード中は、実行状況をプログレスバーで表示します。

ご注意 これによりシステムコントローラーがそれまで記憶していた設定はすべて失われます。

4. システムコントローラーの電源の「切」→「入」を行ってください。



■ 通信設定

1. RS-232C 通信の設定を行います。

- ・通信ポートはシステムコントローラーを接続する、パソコン本体のポート番号を確認して、その番号に設定してください。
- ・通信速度はシステムコントローラーの設定と同一となるように設定してください。

2. 自動セーブ機能の設定を行います。

- ・編集中に、停電やパソコンの暴走によって、入力したデータが消えてしまうのを防ぐために、一定間隔（時間）ごとに編集中のファイルを自動的に保存する機能があります。この機能を使用する場合は、保存間隔を3分、5分、10分の中から選択してください。
- ・保存されるファイルは、Temp.etl（イベントタイトルデータ）とTemp.ctl（タイトル・短縮番号データ）です。保存されるディレクトリは、タイトル設定ソフトがインストールされている場所で、通常 C:\¥C-SC50B Title Set です。

※ 自動保存中は操作ができなくなりますが、故障ではありませんので、しばらくお待ちください。

3. 設定ボタンを押したとき、設定された内容を設定ファイルに保存します。（TOA. INI）

デフォルト値は、「COM1／38400bps／なし」です。

4. 終了ボタンを押したとき、設定が変更されていた場合は、SAVE 有無の確認をメッセージボックスで行い、終了します。

■ 設定用データ生成

C-SC50B 設定用データ生成

バックアップファイル名

C:¥Program Files¥タイトル・短縮番号設定ソフト¥200610:

参 照

↓

CSVファイル名

C:¥Program Files¥タイトル・短縮番号設定ソフト¥200610:

参 照

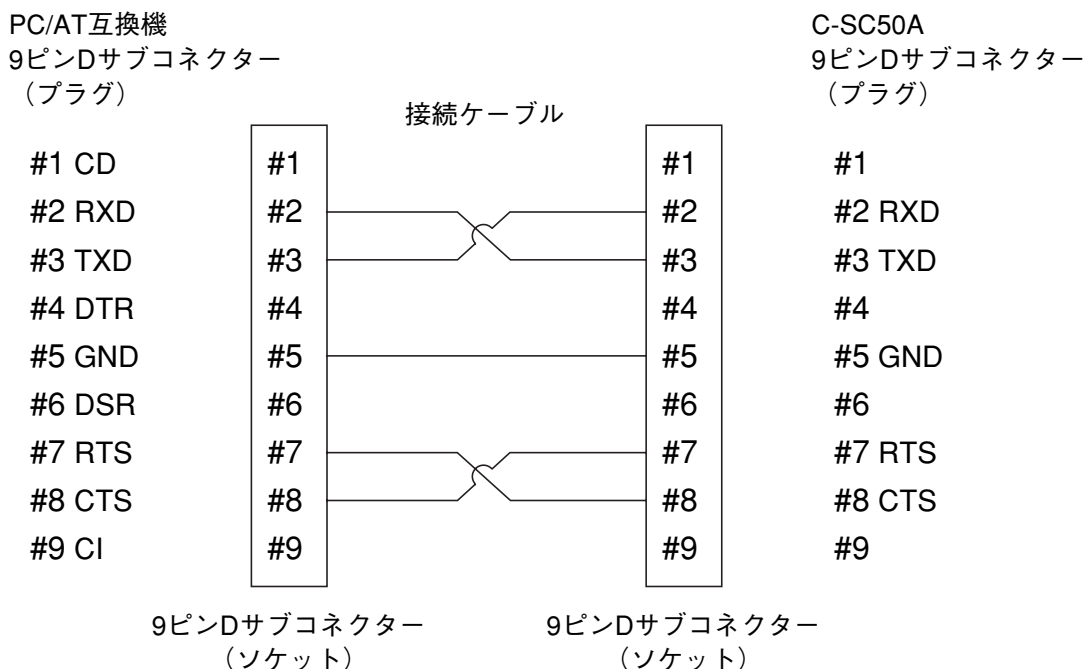
開 始

終 了

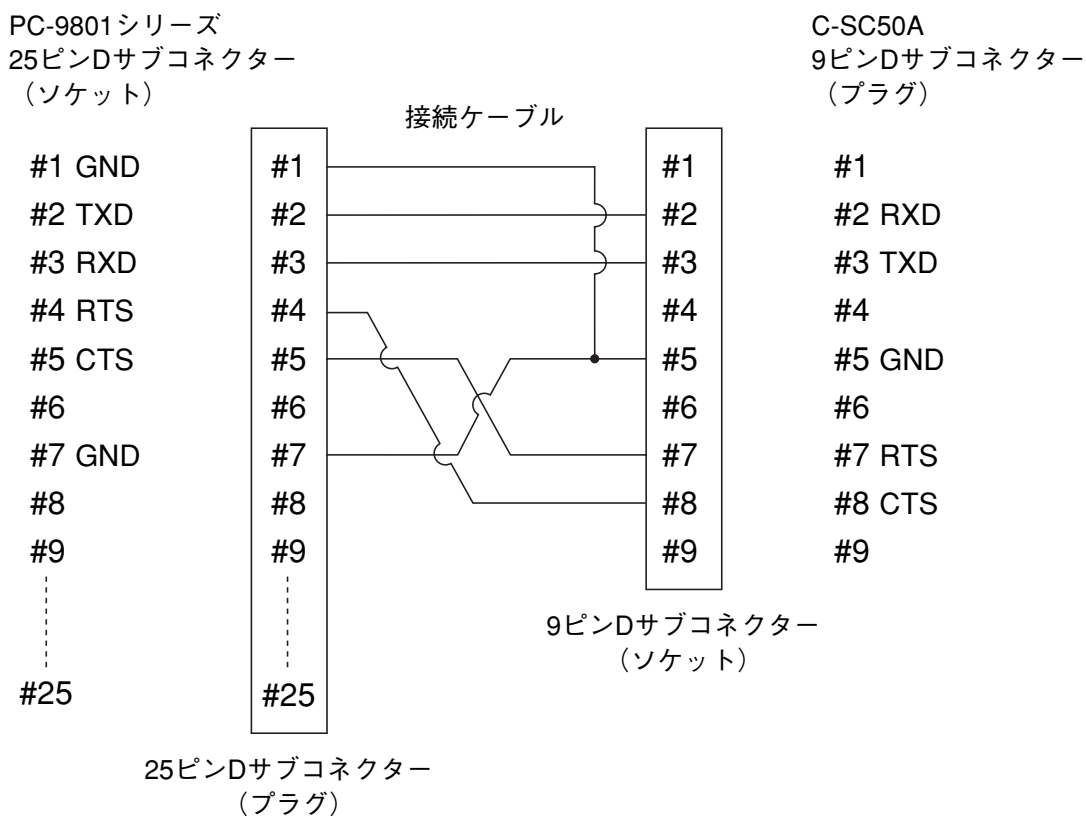
1. バックアップファイルより、タイトル・短縮番号設定用データ、イベントタイトル設定用データを CSV 形式で作成します。これによって作成したファイルは、タイトル・短縮番号設定画面、イベントタイトル設定画面で開くことができます。
2. バックアップデータは任意のドライブ、ディレクトリを選択できます。
3. 各 CSV データの作成は、任意のドライブ、ディレクトリを選択可能で、任意のファイル名で作成できます。但し、ファイルの拡張子は、タイトル・短縮番号データは「.CTL」、イベントタイトルデータは「.ETL」で、ファイル名は共通とします。
4. CSV データ作成中は、実行状況をプログレスバーで表示します。
5. 指定された CSV ファイル名が、すでに存在する場合は、メッセージボックスで確認後、上書作成します。

■ RS-232C リバースケーブルの結線図

● PC/AT互換機パソコンの場合



● PC-9801シリーズパソコンの場合



■ 16進コード入力表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
1	G	H	I	J	K	L	M	N	■	P	Q	R	S	T	U	V
2	W	X	Y	Z	録	画	再	生	早	送	巻	戻	年	月	日	火
3	水	木	金	土	主	副	声	倍	速	色	濃	淡	番	組	予	約
4	開	始	終	了	時	刻	確	認	計	押	消	去	停	止	入	出
5	力	高	低	音	質	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ
6	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ
7	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ
8	わ	を	ん	が	だ	づ	で	ど	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
9	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
A	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
B	ル	レ	ロ	ワ	ン	グ	ズ	ダ	デ	ド	ビ	ボ	ピ	プ	ポ	ャ
C	ゆ	よ	っ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	→	←	↑	↓	!	?	/	■	
D	+	−	▶	▷	◁	◂	SP	LF	EP	AM	FM	CH	&	{	}	<
E	>	:	;	.	・	。	,	—	☺	☀	☪	☂	📺	🖨	📶	
F	”	°	*	ヲ	=											

例：「入」を表示したい時の入力コードは“4E”です。



商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA インフォメーションセンター
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)
TEL. 0120-108-117
〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
TEL. (0797) 72-7567
FAX. (0797) 72-1090